

## ことばの教室自立活動学習指導案

児童 A (男)  小学校 2 年生  
指導者

### 1 単元名

「リ」を正しく発音しよう。

### 2 単元について

#### (1) 指導にあたって

ラ行音の子音[ ]は、舌先を口蓋の方にそり上げて、呼気が出始めてから、舌先を上歯茎にはじくようにして打ちつけてつくる弾音である。この子音[ ]に母音[ , , , ]をつけると、ラ行音[ラ, リ, ル, レ, ロ]になる。また、ラ行音は、構音の仕方が難しいので、構音成熟の順番からみると、サ行音と同様に後の方になって完成される音である。

本児は、身体発達、環境、情緒、聴力、発声発語器官の形態に特に問題がみられず、構音障がい（歪み：キ, リ, 置換：ニャ行音→キ° ャ行音）と判断できる。

本児が構音を誤って学習し、それが習慣化した要因としては、構音習得期に音の弁別力や認知力が未熟であったことと、舌の運動機能が不十分であったことが考えられる。

これまで、舌の出し入れや上下運動、「舌じゃんけん」による機能訓練を行ってきたので、舌の硬さがとれ、随意的に動かせるようになってきた。また、正しい「リ」と歪んだ「リ」を聞き分ける学習を先行して行ってきたので、聞き分ける力も育ってきた。

本児の指導にあたっては、視覚的、聴覚的に構音の誤りを確認し、「レ」から「リ」を導く方法で、正しい「リ」を発音できるようにさせたい。

#### (2) 指導計画（11時間）

- |                     |             |        |
|---------------------|-------------|--------|
| ①ラ行音の舌の動きの確認と「レ」の強化 | ----- (1時間) |        |
| ②「リ」の音づくりと発音指導      | ----- (4時間) | 本時は1/4 |
| ③「リャ」の発音指導          | ----- (1時間) |        |
| ④「リュ」の発音指導          | ----- (1時間) |        |
| ⑤「リョ」の発音指導          | ----- (1時間) |        |
| ⑥「リ」「リャ行音」の習熟指導     | ----- (3時間) |        |

### 3 本時の指導

#### (1) 目標

「リ」の音を正しく発音することができる。

#### (2) 展開

	学習内容	指導上の留意点	準備等
課題把握 7	1. 本時のめあてと学習内容を知る。 ・学習の動機づけ ①自分の発音を聞く  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「リ」を正しく発音しよう</div>	○課題を導くための学習の動機づけをする。  ・自分の発音に気づかせる。	MD
母音指導 3	2. 母音の口形を練習する。 ・1音ずつ	○自己評価させ、主体的に取り組ませる。	母音口形カード

機能訓練 8	3. 唇や顎, 舌の機能訓練をする。 ・イエイエ体操 ・ウイウイ体操  ・舌じゃんけん ・舌の運動	○顎の動きや舌形を意識させる。 ○唇の動きや舌形を意識させる。  ○「ゲー」は舌の先が歯茎にくっつくことを意識させる。	メトロノーム
耳の訓練 5	4. 「リ」音の正誤を弁別する。 ・「リ」1音 ・「リ」がつくことば(語頭)	○指導者が発音した正しい「リ」と誤って発音した(歪んだ)「リ」を聴覚により聞き分けられるようにさせる。	
構音指導 15	5. 「リ」を導く ・イー, レーイー ・イーレイイー ・イーリー ・リー ・リ	○口形や舌の動きに気をつけて発音するようにさせる。 ○繰り返し行い, 定着を図る。	
まとめ 7	6. 本時の学習をふりかえる。  7. 次時の学習を知る。	○本時の学習でむずかしかったところや頑張ったところを思い起こさせる。 ○今日の学習の成果をほめ, 次時の学習への意欲づけとする。	通級ノート

資料 (個別指導計画)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
動機づけ	—————→											
機能訓練	—————→ 口, 唇, 舌, 顎											
耳の訓練	————→ ニ					————→ リ			————→ キ			
母音口形指導	-----→											
構音指導	→ ニ						→ リ		→ キ			
発音指導	————→ ニ						————→ リ		————→ キ			
習熟指導	————→ 短文等											

(9月スタート)